

●—司会 では、これからクロージングセッションを開始いたします。愛知大学の佐藤副学長より閉会の挨拶をお願いいたします。

---

## 閉会挨拶

佐藤元彦

〈愛知大学副学長〉

●—佐藤 皆さん、どうもお疲れ様でございました。閉会の挨拶ということで、本来は立ってすべきところですが、マイクの都合上、座ったままで挨拶をさせていただきます。

本来ならば、学長がこの場で挨拶をすべきところですが、昨日、私も含めて大学の理事会、評議員会があり、ちょうどこの会議と重なってしまいまして、学長が挨拶できないことをお詫び申し上げたいと思います。あわせて、学長より皆さまにはぜひよろしくということをお申しついておりますので、お伝えを申し上げたいと思います。

私はシンポジウムのプログラムが作成される段階では副学長ではありませんでしたので、司会をお引き受けしました。愛知大学は創立記念日に新しい学長が着任するという習わしになっております。この11月15日に新しく堀学長が着任されました。そのもとで、

私ともう1名、太田が副学長に選任をされて執行部が動き出しました。今までも武田前学長のもとで、皆さまに多大なるご協力をいただきましたが、ぜひ新しい体制のもとでもご協力をいただきたいと思います。

今日は、いろいろと議論がありました。私の理解におよばないところも多々ありましたが、特に学外、海外の皆さんのサポートがあって、愛知大学の研究活動、さらには研究活動を踏まえた教育活動が展開できています。新しい計画も直近に迫っておりますので、その点も含めまして、引き続き今まで以上のご協力をぜひお願いしたいと思います。本来であれば、冒頭にご挨拶を申し上げるべきところですが、改めまして、学長の歓迎の言葉をお伝えをするということで、閉会の挨拶に代えさせていただきます。どうも本当にありがとうございました。

